

世界における木材貿易の流れ

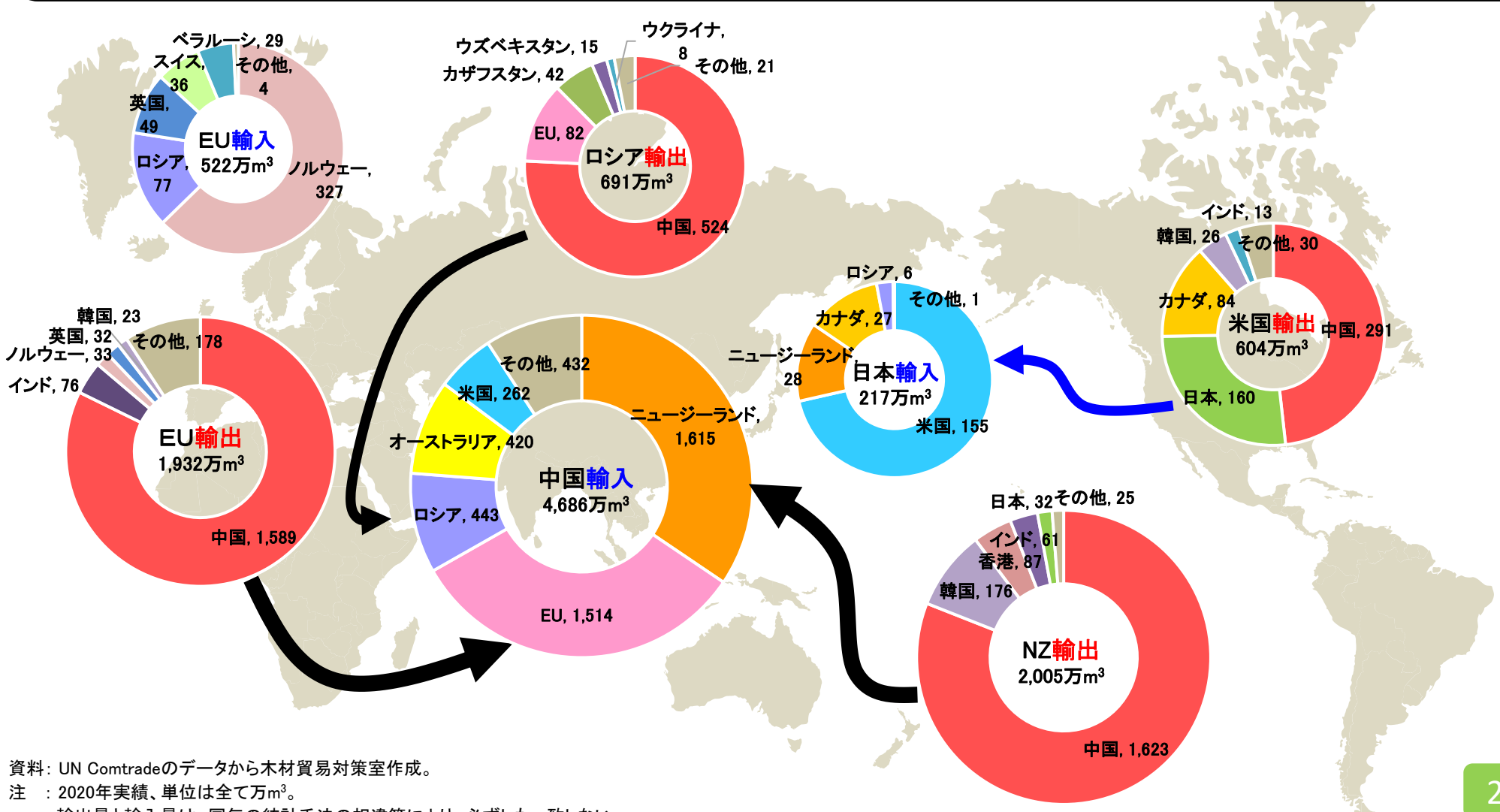
— 針葉樹丸太、針葉樹製材、合板 —

令和4年2月

林野庁木材貿易対策室

1. 世界における針葉樹丸太の貿易

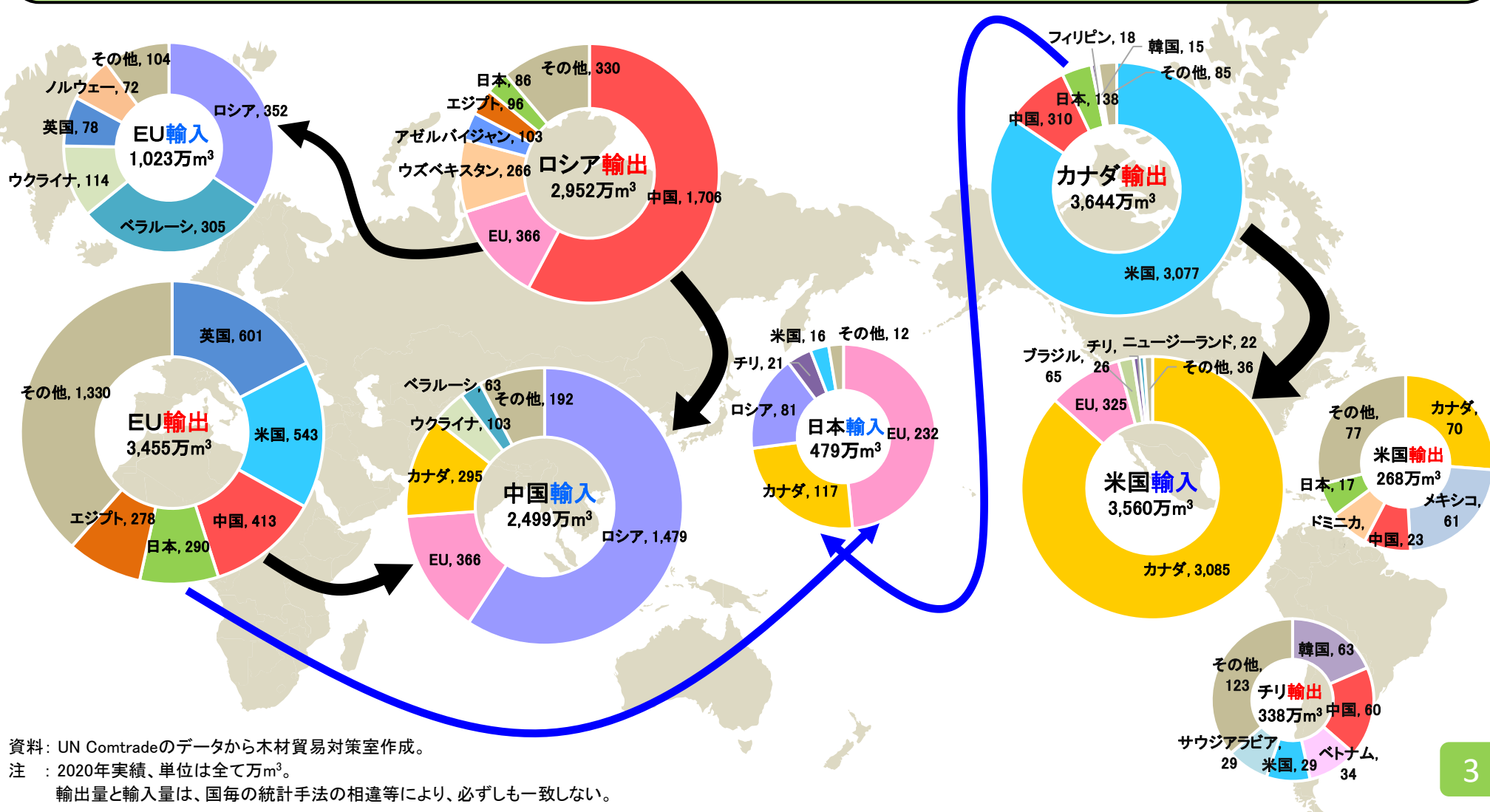
- 2020年における世界の針葉樹丸太輸出量は約9,800万m³。NZ(20%)、EU(20%)、ロシア(7%)、米国(6%)で全体の53%を占める。
- 同年における世界の針葉樹丸太輸入量は約1.03億m³。中国(45%)、EU(5%)で全体の50%を占める。
- 主な流れは、NZ→中国(1,600万m³程度)、EU→中国(1,500万m³程度)、ロシア→中国(500万m³)など。
- 日本の針葉樹丸太輸入量は217万m³で、世界の2%を占める。米国からの輸入が71%。



資料: UN Comtradeのデータから木材貿易対策室作成。
 注: 2020年実績、単位は全て万m³。
 輸出货量と輸入量は、国毎の統計手法の相違等により、必ずしも一致しない。

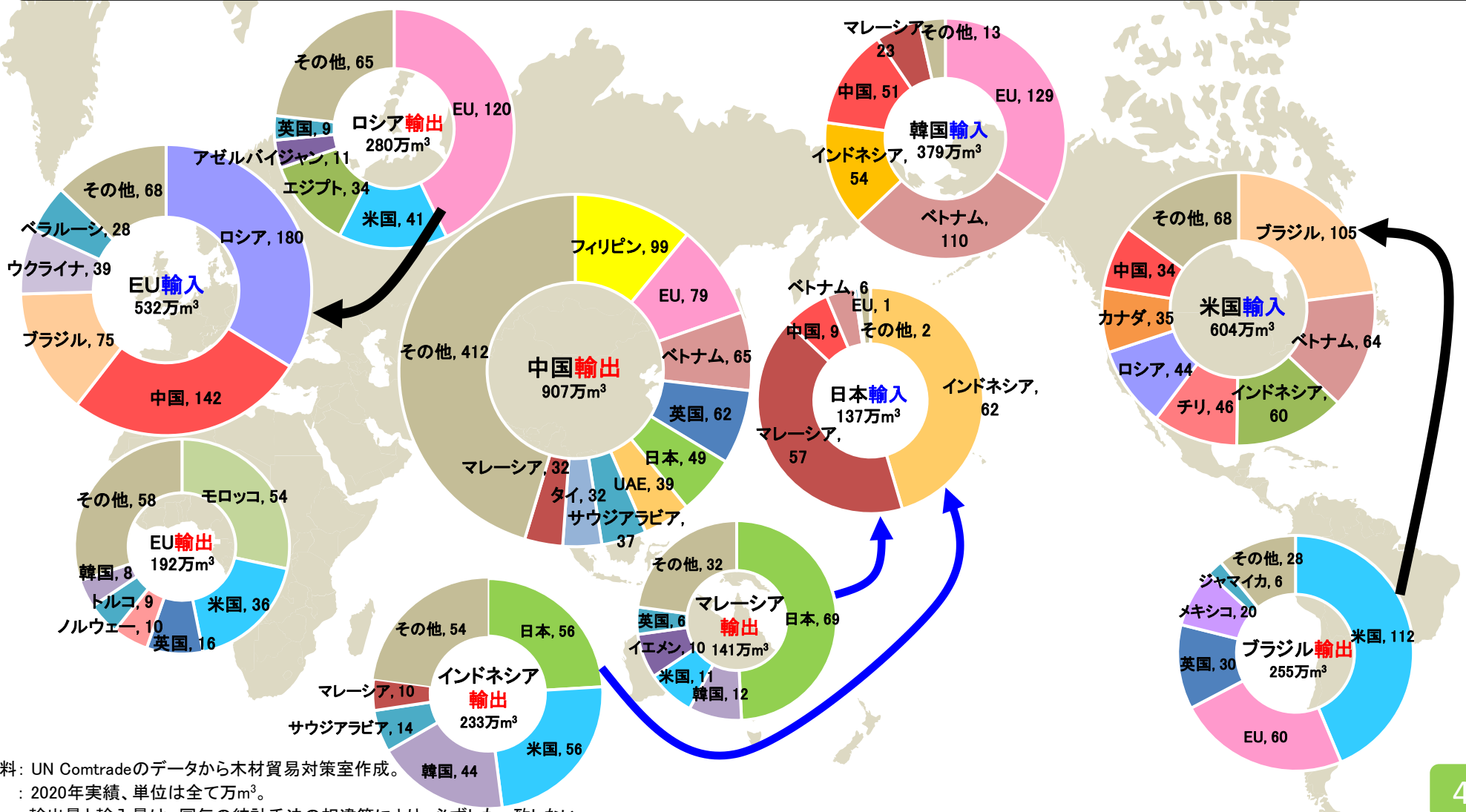
2. 世界における針葉樹製材の貿易

- 2020年における世界の針葉樹製材輸出量は約1.43億m³。カナダ(25%)、EU(24%)、ロシア(21%)で全体の70%を占める。
- 同年における世界の針葉樹製材輸入量は約1.21億m³。米国(29%)、中国(21%)、EU(8%)で全体の58%を占める。
- 主な流れは、カナダ→米国(3,000万m³程度)、ロシア→中国(1,700万m³程度)、ロシア→EU(360万m³程度)、EU→中国(400万m³程度)など。
- 日本の輸入量は479万m³で、世界の4%を占める。EUからの輸入が48%、カナダが24%。



3. 世界における合板の貿易

- 2020年における世界の合板輸出量は約2,600万m³。中国(35%)、ロシア(11%)、ブラジル(10%)、インドネシア(9%)で全体の約65%を占める。
- 同年における世界の合板輸入量は約3,200万m³。米国(19%)、EU(17%)、韓国(12%)で全体の約48%を占める。
- 主な流れは、ロシア→EU(150万m³程度)、ブラジル→米国(110万m³程度)など。
- 日本の輸入量は137万m³で、世界の4%を占める。インドネシアからの輸入が45%、マレーシアが42%。



資料: UN Comtradeのデータから木材貿易対策室作成。
 注: 2020年実績、単位は全て万m³。
 輸出量と輸入量は、国毎の統計手法の相違等により、必ずしも一致しない。